



ミ シンの使い方を伝授 地域の方々を講師としたミシン教室を蚕桑小学校で開催

10月21日に蚕桑小学校5年生の児童たちは、地域の方3名を講師に招き、ミシンの使い方を教わりました。

児童たちは、普段使う機会の少ないミシンを使った縫い方を学習しました。高速で動く針に少し怖いと感じた児童が多かったようですが、先生方から優しく操作方法と縫い方のアドバイスをもらいながら進めていくうちに、恐怖心も少しずつ薄れ、最後に「まっすぐ、うまく縫えました！」と喜ぶ姿が見られました。

講師の方のおかげで安全に学習を行えるこのミシン教室は複数回開催され、児童たちはミシンの使い方をマスターしていきます。



地域の先生が優しく見守るなか、落ち着いた様子で縫い進める児童



ス ポーツの秋、秋晴れのもと元気はつらつプレー 第2回白鷹町民パークゴルフ地域交流大会を開催

10月24日、白鷹町パークゴルフ場（十王）で、第2回白鷹町民パークゴルフ地域交流大会が開催されました。本大会は、健康づくり、パレス松風の利用拡大を目的として昨年に引き続き開催されました。

この日は絶好のスポーツ日和となり、参加者たちは新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、秋空のもと元気はつらつプレーで大会を盛り上げました。また、中にはこの日初めてプレーする選手もおり、ベテラン選手からアドバイスやコツを聞きながらコースを回り、幅広い世代の交流も図られた大会となりました。



スポーツの秋！秋空のもとナイスショット！！



フ ラワー長井線開業セレモニー 荒砥高校生が開業記念ヘッドマーク付列車をお出迎え

10月24日、フラワー長井線開業セレモニーに合わせ、荒砥駅では、荒砥高校吹奏楽部による演奏と荒砥高校生手づくりの横断幕により、開業記念ヘッドマーク付列車を出迎えました。

荒砥高校生のあたたかい歓迎と素晴らしい演奏が、地域の足として活躍するフラワー長井線を盛り上げてくれました。今後も、フラワー長井線の利用促進に向けた取り組みを行っていきます。



荒砥高校吹奏楽部のみなさんの演奏で
記念列車を出迎えました



お米ができるまで 東根小学校で米の脱穀作業体験を実施

10月11日に東根小学校5年生の児童たちは、稲作の最終工程である脱穀作業を体験しました。

東根小学校では、小山沢地区中山間地域づくり協議会に協力をいただき、毎年春の田植えから秋の脱穀作業までの体験学習を行っています。

米づくりの最終工程となる脱穀作業。約1時間の作業をもくもくとこなした児童たち。無事にすべての稲を脱穀し、収穫することができ、児童たちは喜びに満ちた様子でした。

今回脱穀した米は、小山沢地区中山間地域づくり協議会で精米を行ったのちに学校に届けられます。



ハーベスタに乾燥させた稲を投入します



郷土の味を学ぶ 町内各小学校で郷土食伝承事業を実施

本町では、毎年各小学校の6年生を対象に、郷土の農産物、文化の豊かさ、先人たちの知恵を学んでもらおうと、郷土食伝承事業が行われており、今年度も町内すべての小学校で実施されました。

10月12日は荒砥小学校6年生の児童たちが、東根地区の土里夢館を訪れ、地元の旬の食材を活用した郷土料理をいただきました。地域の方々により真心こめて料理された郷土食を食べた児童からは、「地元こんなおいしい料理があることを初めて知りました。作っていただき本当にありがとうございます。」と郷土料理に興味を抱きながら感謝している様子でした。



美味しそうに栗ご飯を頬張る児童たち



地元の特産品を育て・収穫 東根小学校で岡の台ごぼうを収穫

10月15日に東根小学校3年生の児童たちは、6月に学校の畑に植えた地元の特産品である岡の台ごぼうを収穫しました。

収穫では、生産者の小松勝美さんから指導を受けながら、当日駆けつけた保護者の方と共に、親子で力を合わせながらたくさんのごぼうを収穫しました。今年は雨の日が続いたため、例年以上の長さで成長したごぼうを自らの手で掘り出しました。参加した児童は、「土を掘るのがとても大変だったけど、採れたときはとても嬉しかった」と達成感と汗をにじませながら話してくれました。



大きく成長したごぼうを前に、まだまだ掘り進めます